

記者資料提供（平成20年6月6日）

企画調整局医療産業都市構想推進室 花田、内藤

TEL：078-322-6349 内線2354

E-mail：iryo_sangyotoshi@office.city.kobe.jp

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/06/015/iryo/index.html>

（財）先端医療振興財団総務課 大石、小島

TEL：078-306-1700 FAX：078-306-1708

E-mail：office@fbri.org

第7回産学官連携推進会議において 高精度放射線治療装置が産学官連携功労者表彰を受賞

神戸医療産業都市構想の中核施設のひとつである(財)先端医療振興財団が、三菱重工業株式会社・京都大学と共同研究開発を行ってきた「高精度放射線治療装置」が、第7回産学官連携推進会議（主催：内閣府・総務省・文部科学省・経済産業省・日本経済団体連合会・日本学術会議）において、産学官連携功労者表彰のうち、経済産業大臣賞を受賞することになりました。

◆産学官連携功労者表彰の受賞内容◆

経済産業大臣賞

「高精度がん放射線治療装置の開発」

(財)先端医療振興財団 先端医療センター診療開発部放射線治療科部長 小久保雅樹

国立大学法人京都大学教授 平岡真寛

三菱重工業株式会社 医療機器事業統括室 主席技師 川田則幸

◆高精度放射線治療装置の概要◆

(1)名称 線形加速器システムMHI-TM2000

(2)概要 がん病巣を正確に把握し、放射線を正確かつ集中的に照射することで、正常組織の被曝を低減し副作用を減少させることができます。

(3)特徴

①装置の構造を剛性に優れるリング構造にすることで、高い機械精度を持たせることができる。

②X線照射口に世界初の首振り機構を採用することで、照射方向を微調整することができる。

③X線イメージングシステムを2対搭載することで、患者の体内を立体的に把握できるようになり、病巣の位置を正確かつ短時間に決めることができる。

以上の特徴を有しており、今までに比べて簡単に短時間で正確な放射線治療を行うことが可能となります。

◆先端医療センターにおける共同研究から現在までの経緯◆

平成16年度から、三菱重工業が先端医療センターにプロトタイプ機（試作機）を設置し、先端医療振興財団・京都大学とともに実用化試験など共同研究を実施し、平成20年1月に厚生労働省の製造販売承認を取得しました。

また、現在、先端医療振興財団では、先端医療センターにその装置を導入し、5月から患者の治療に活用するとともに、更に三菱重工業及び京都大学と共同研究を推進することで、患者の動きに合わせて揺れ動くがん病巣を追尾し、正常組織への被曝を低減できる世界初の動体追尾機能の実用化をめざしています。

◆産学官連携推進会議の趣旨◆

(1)趣旨

第3期科学技術基本計画に基づき、産学官連携の推進を担う第一線のリーダーや実務経験者等が一堂に会し、具体的な課題について、研究協議、情報交換、対話・交流・展示等の機会を設けることで、産学官連携の新たな展開を図る。

(2)日程

平成20年6月14日(土)～15日(日)

※産学官連携功労者表彰:6月14日(土) 15:30～16:30

(3)開催場所

国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

